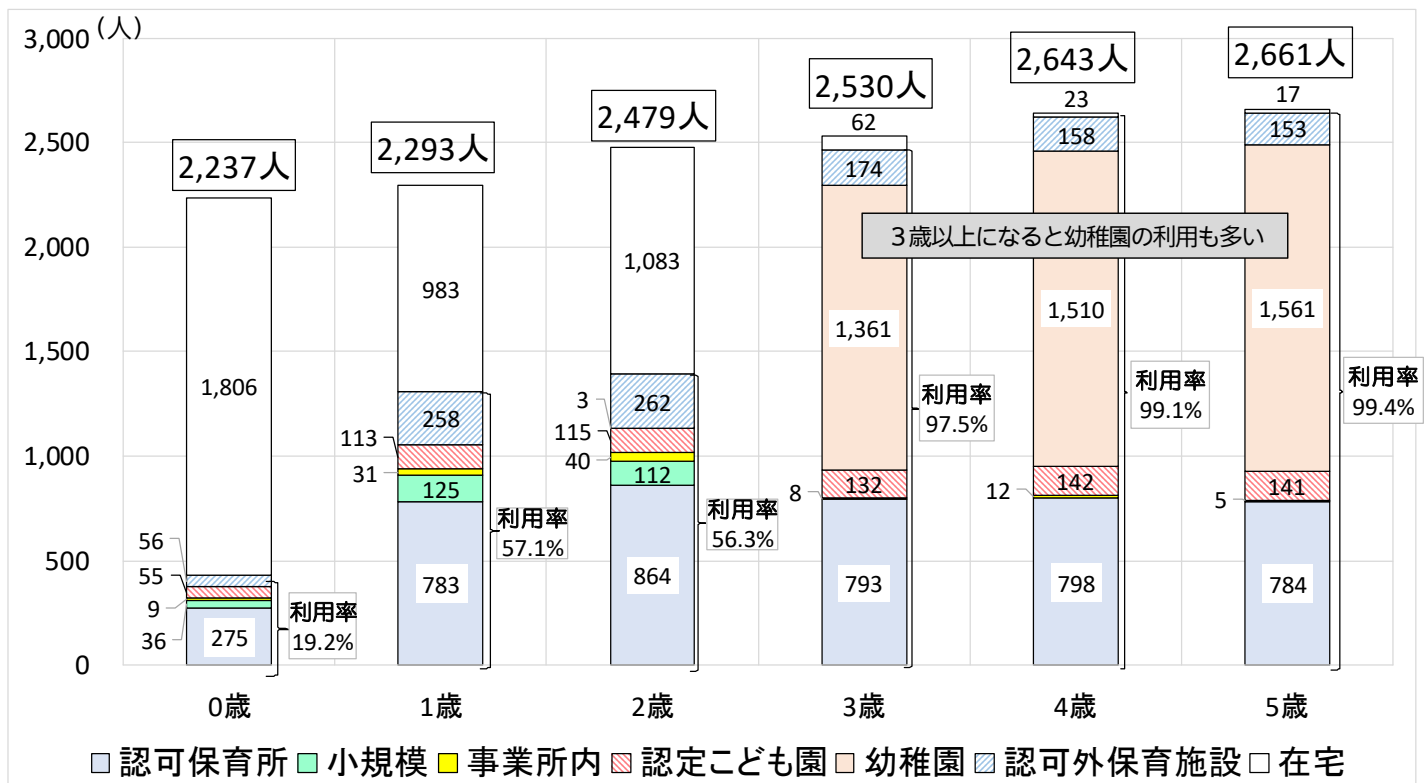
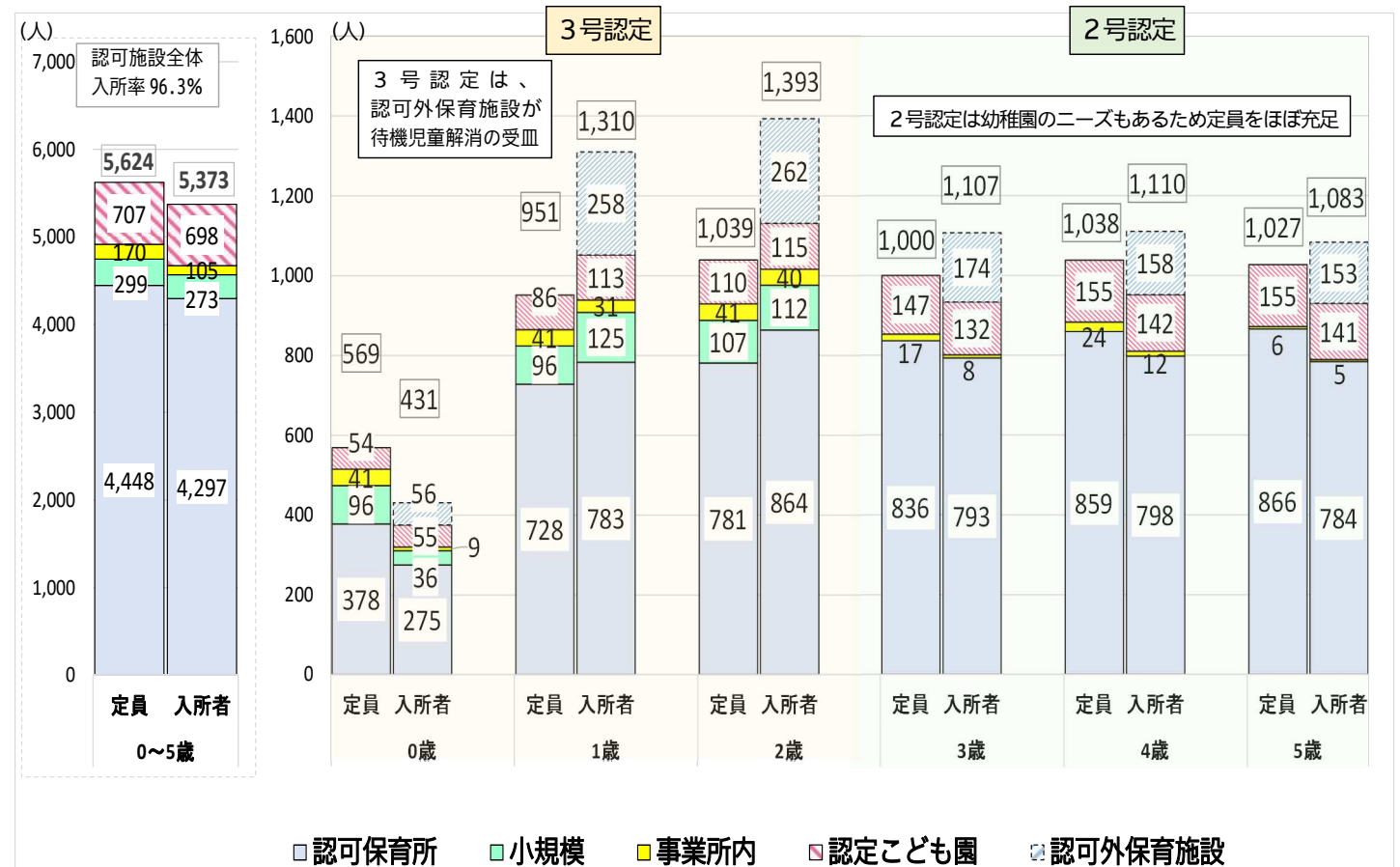


1 現状（利用状況【グラフ①】、保育施設入所状況【グラフ②】）

グラフ① 年齢別 保育所・認定こども園・幼稚園等年齢別利用状況 2021.4.1現在



グラフ② 年齢別 保育所（認可・認可外）・認定こども園入所状況 2021.4.1現在



2 課題

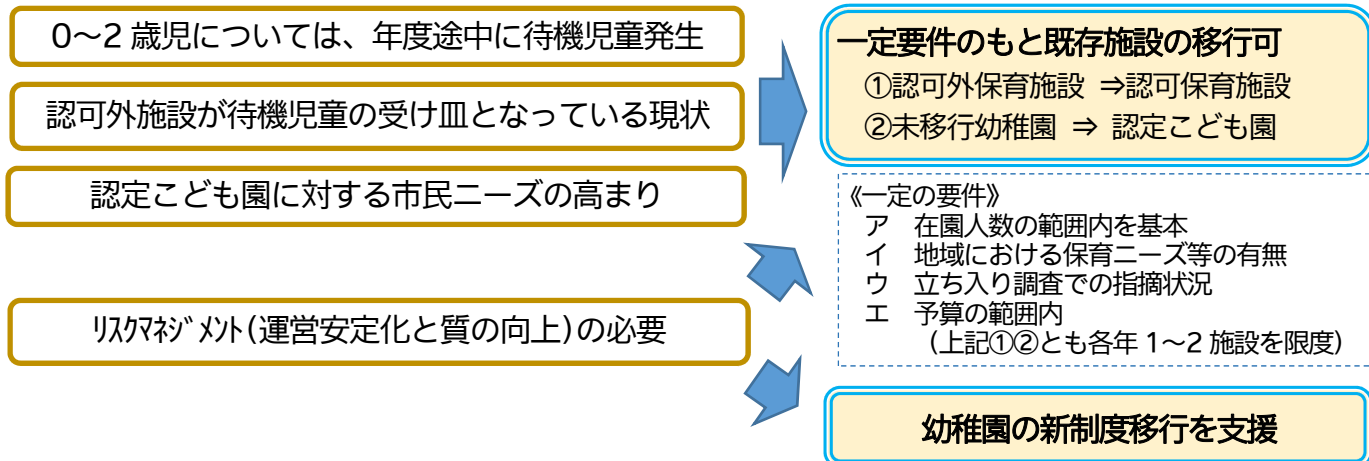
- (1) 年度途中で待機児童の発生
 - 4/1時点 ゼロ ⇒ 10/1時点、国基準の待機児童 29名
 - 年度当初から認可外施設も受け皿
- (2) 既存施設の認可化等への対応
 - 少子化に伴うリスクマネジメント（運営安定化と質の向上）の必要 ⇒ 「認可施設」・「新制度」への移行要望
 - 「認定こども園」に対する市民の入所ニーズの高まり
- (3) 人口減少社会を見据えたインフラ整備
 - 「2号認定子ども」の利用定員はプランを上回る整備を達成
 - 施設の老朽化や少子化を見据えた公立保育所の再配置検討

児童福祉法第35条第8項
利用定員総数が計画の必要利用定員総数に達した場合、認可しないことができる。

・本市における保育ニーズの需給バランスを考慮し計画的な認可を行う必要がある。

3 対応方針（2025年以降については第3期計画策定段階で見直しを行う。）

- (1) 年度間を通じた待機児童の解消 / (2) 既存施設の認可化等による質の向上



- (3) 人口減少社会を見据えた適正なインフラ整備



移行イメージ

